

△産業宣教 次世代を生かす伝道やぐら(ヨハ 21:15-18)	△レムナント伝道学 レムナントの祈りのやぐら ② - 神の国のこと(使 1:3)	△核心 / Remnant day 11 月学院福音化	△散らされた弟子たち 散らされた弟子たちの 時刻表(使 11:19)				
<p>完全な祈りは聖書にある答えが来るようになって、神様の絶対可能を見ること。永遠に残る神様のことを味わうこと</p> <p>生活の中でやぐら(見張り人)を立てるべき</p> <p>1. 生活の中でやぐら=神様と私の疎通 2. 御座と私がある世の中に対する疎通 3. 祈りは時空を超越。他の人が受けられない答え(空前絶後)を見つけることが重要 これを生活の中で見つけ出す見張り人。やぐらを祈りで私の中に、先に建てるべき</p> <p>神様が与えられる力 私にあることを知って味わって、神様が私とともにおられるその力の証人 そのときから、じっとしていても世界化</p> <p>礼拝、祈って出てくる、ただを発見しなさい。唯一性を待ちなさい。必ず来る。そのときから、再創造に挑戦しなさい。これだけを味わって話せば良い。</p> <p>1. このときから、キリストが与えられたやぐらが建てられる。キリストが与えられたやぐらだけが生じるべき。このとき、見張り人になる。 2. 必ずキリストが与えられた旅程に行くようになる。このとき、受ける答えが残りの者、巡礼者、暗闇の勢力に勝つ征服者 3. キリストが与えられた道しるべ三つがある。このときから、絶対産業が見える。光の経済が回復する。</p> <p>□序論_証人(使 1:8) レムナントに産業人が産業を通して教会と次世代に証人になること</p> <p>□本論_次世代の前に 1. 神様が準備された未来 1) マタ 18:1-10 子どもたちを祝福 2) ルカ 23:28 子どもたちのために泣きなさい。 3) ヨハ 21:15-18 復活して子羊を飼いなさい。 4) マタ 27:25 ユダヤ人が血の値を次世代の上に回せと言った。私たちは次世代に何を伝えるべきか契約を握るべき</p> <p>2. 次世代にやぐらを建てるほど、答えを受けるべき。目的はレムナント、中間の役割を産業人がした。 1) 使 17:1 ヤソソ、キリストの当為性を教え 2) 使 18:4 プリスキラ、礼拝と祈りを教え 3) 使 19:8 別に立てた弟子、神の国がレムナントの基準</p> <p>3. 未来 1) 70 年にイスラエルが減びるので初代教会がこれに備えた 2) 79 年にローマのポンペイ噴火。偶然だと見ない。 3) 313 年にローマがキリスト教を国教として宣言。その後、もっと大きなことが起こるとき、生かすことができる次世代を準備</p> <p>□結論_どの程度祈るのか 7 やぐらがプラットフォームになる時まで、7 大旅程が見張り台になる時まで 伝道現場に行き絶対すべき道しるべ三つがアンテナ</p>	<p>□序論</p> <table border="1" data-bbox="712 268 1117 384"> <tr> <td>瞑想</td> <td>黙想</td> </tr> <tr> <td>主人-私 呪文-刻印 ネフィリム</td> <td>黙想-王(呼吸) みことば-たましい(暗唱) 生活-学業(祈り)</td> </tr> </table> <p>□本論</p> <p>1. 世の国(衣食住) 1) 創 3:4-5 (私)-私の考えより神様の考えとみこころを先に尋ねる必要がある 2) 創 6:4-5 (ネフィリム)-私中心に接近すれば、だれもが引かかることを知ってネフィリムにする。 3) 創 11:1-8 (バベルの塔)-成功という言葉に引かからない人はなくて、サタンが活用する。</p> <p>2. サタン(世の国利用)-信徒はここに仕える 1) 落とし穴 2) 枠 3) 罫で縛っておいたので解放されなければ治せない。</p> <p>3. 神の国(解放-回復) 1) ヨハ 3:16 ここから解放されることは一つしかない。 「神様が、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された」 2) ヨハ 14:6 サタン(世の国)から抜け出す道。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです」 3) 使 1:3 このときから解放されて、神の国のこと、祝福を味わうようになる。 △教会に通っていても、福音を分らないければ創 3、6、11 章にいる。</p> <p>□結論_レムナント 7 人が受けた答え 1. 使 17:1 なぜキリストなのか。キリストで答えを出すとき、御名が重要だ。 2. 使 18:4 なぜ安息日なのか。とても重要な礼拝を説明した。 3. 使 19:8 なぜ大胆に神の国のことを説明したのか。レムナントが答えを受ける基準であるからだ。</p>	瞑想	黙想	主人-私 呪文-刻印 ネフィリム	黙想-王(呼吸) みことば-たましい(暗唱) 生活-学業(祈り)	<p>□序論_24-キリスト(祈り)完全福音 味わう 完全な祈り</p> <p>1. 神様と私-7 やぐら 2. 暗闇の勢力を崩す 237 の答え-7 旅程 3. 天地開闢が起こる時刻表-3 道しるべ △完全福音していると、このような人々と次世代を付けられるだろう。 集中方法-呼吸祈り 24</p> <p>□本論</p> <p>1 課テトス-レムナントは宣教師、牧会者、専門家宣教師の中の一つ 1. 残された者(テト 1:4 真のわが子)-レムナントは牧会者の祈りの中にいれば良い。 2. メッセージ伝達者 3. やぐらを建てる者-使命</p> <p>2 課オネシモ-崩れた者、大丈夫だ。起き上がれば良い。 1. オネシモのように起き上がりさえすれば、もっと大きな人物になる。 2. 赦し、悔い改めることができる必要がある。それが福音を持った者だ。 3. ピレモンが仕える教会の監督になったオネシモ △その人がどのように変わるか分からないので、私の基準で見たり、むやみに判断してはならない。それが福音だ。</p> <p>3 課キリスト 福音-神様が私を訪ねて来て救われたこと 宗教-私中心、私が探して行くこと、私が修行</p> <p>これから残ること、私がするのか、神様がなさるのか。天国は良くできるから行くのではなく、救われて行くのだ。教会も福音を強調しなければ宗教だ。 1. すばらしい救いを与えられた者(ヘブ 2 章) 2. 真の安息を与えられた(ヘブ 3 章) 3. 偉大な大祭司(ヘブ 4:14-16) 4. 手で作った聖所でない、完全な聖所になられたキリスト</p> <p>4 課信仰の英雄-世にふさわしくないということばは、世の中が皆さんに勝つことができないということだ。世の中を恐れてはならない。偽物だ。世の中をあまり軽く見てはならない。背後にサタンがいる。世の中について行くのではなく、引っ張って行く必要がある。 1. 信仰-見えないことが実像で証拠だ。それを待ち望むのが信仰だ。それゆえ、望むことを確信させる(証拠)。重要なことは目に見えない。 2. 聖書の証人 3. ヘブ 11:6、38 特徴が神様を信じる者、神様を喜ばせる者。神様が生きておられることと、求める者には報いてくださることを信じなければならない。世にふさわしくない。</p> <p>□結論_完全福音の決断 1. ガラ 2:20 私は死んで、生きていない。必要ない。キリストが私の中に 2. 赦し 3. 病んでいる者-助けなければならない。 4. Elite(霊的問題)-それゆえ、福音を伝えなければならない。 5. 三つの庭準備</p>	<p>時刻表-散らされた弟子には時刻表がある。 RT 7-レムナント 7 人に正確な時刻表があった。 主であるわたしが時になれば成し遂げる。 五旬節の日になって。皆さんに時刻表がある。 それなら、散らされた弟子が味わう時刻表を少し見る必要がある。</p> <p>1. 旧約時代 7 わざわい-RT(福音) 福音がなくなれば死ぬ。福音がなければ、わざわざが臨む。そのときごとに、神様は福音を持つレムナントを立てられた。これが時刻表だ。</p> <p>2. 新約時代-イエス様が教えられたこと 1) やぐらを建てること 2) この福音旅程に行くこと 3) 神様が与えてくださった道しるべについて行くこと</p> <p>3. 終わりの時代 (マタ 24:1-14、使 1:8) 地震、飢饉、わざわざ、戦争、反キリストが起きるが、終わりではない。すべての民族に福音が宣べ伝えられた後に終わりが来る。地の果てまでわたしの証人になります。 ロマ 16:25-27 世々にわたる前に隠されていたことを皆さんに与えてくださる。</p>
瞑想	黙想						
主人-私 呪文-刻印 ネフィリム	黙想-王(呼吸) みことば-たましい(暗唱) 生活-学業(祈り)						

△区域メッセージ (第 44 週) 真の成功 (20 の戦略) と 25 の答え (使 1:1, 3, 8)	△聖日 1 部礼拝 苦難の中で動揺してはならない (I テサ 3:1-13)	△聖日 2 部礼拝/237 宣教委員会献身礼拝 終末の証人 (I テサ 4:13-17)					
<p>真の成功は信仰生活、産業、伝道が神様から出てきたこと。霊的原理と私の生活と産業が同じである必要。それが神様が与えられた聖書 20 の戦略を見つけ出した。これを 25 答えを受けること</p> <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 伝道の鍵は、神様が私に、相手に臨在されること。このとき、三位一体神様の聖霊の内住、導き、満たしを与えられる この奥義を味わえば、ただ、唯一性の答えが与えられ、再創造に行くようになる。 この答えであってこそ、サタンが与えた 12 の戦略が崩れる。真の成功は神様の祝福を受けた人が健康で、お金が多くて、長生きすること <p>□本論_証人</p> <ol style="list-style-type: none"> キリスト (1)、神の国 (3)、ただ聖霊 (8) のオリーブ山契約を握ってひたすら祈り (使 1:14) に専念すること <ol style="list-style-type: none"> カルバルの丘-キリストのただ オリーブ山-キリストの唯一性 マルコの屋上の部屋-再創造体験 使 2:1 唯一性 答え <ol style="list-style-type: none"> 出会い-5 基礎 タラッパン、チームの働き、ミッションホーム。職場で専門の働き、地域で地教会が起こる。キリストの唯一性を待てば、成り立ち始める キャンプ-5 合宿 唯一性のキャンプが起きるようになるが、これが合宿。合宿はともにいるために呼ばれたのだ。 唯一性のシステム。神学院、伝道学校、宣教師訓練院などの 5 つのシステムが 5 現場で起こること 唯一性の未来 5 つが出て来る。最も大きい単語がレムナント <p>△これが 20 の戦略。この祝福を受けたのが成功した人</p> <ol style="list-style-type: none"> 結果-道しるべ マルコの屋上の部屋で答えを受けるとき、1・3・8 から驚くべき道しるべが出てきた。 <ol style="list-style-type: none"> 使 13:1-4 聖霊の導きを受けた伝道と宣教、使 16:6-10 人生のターニングポイントを完全に見つけ出す道しるべ、使 19:1-7 ティラノとローマに行く道しるべ 癒やし (使 13・16・19 章) 福音を伝えるのに病気の者を癒やす。キリストとそのみことばを聞けば癒やされる 会堂からローマに行って世界福音化する働き人を育てること。キリストの唯一性の答えを握ってしまえば、ついてくる <p>△救い-本当に救われた人は他のことが必要ない。7 やぐらを確認してみなさい。本当に福音ならば、理念争い、私の考えは必要なくて、罪を犯した者を罪に定めない。真の福音と唯一性は暗闇の権威を倒すこと</p> <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> 伝道-私たちの職業が伝道のために用いられるならば、最高に良いこと キリスト-私たちの職業がキリストを現わすならば最高に大きいこと RT、ヘブ 11 章、初代教会-これらを通して神様が証拠 	<p>患難、苦難、試みが来るときが、一番重要だ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 私の誤ちで来た試み-はやく悔い改めれば良い。 他の人が問題を起して来た患難、試み、苦難-人を生かせれば良い。 教会に来た試み、患難、苦難-本来の教会の祝福であるカルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の部屋の力を回復する機会 <p>□序論_患難、苦難、試みの中で発見する三つのこと</p> <ol style="list-style-type: none"> 当然、必然、絶対 <ol style="list-style-type: none"> 神様が私たちを祝福されるために当然与えられたこと このとき、私は神様の前に何をしなければならぬのか (必然) 神様の絶対的な祝福は何か <p>※神様は患難、苦難、試みを通して、すべての祝福を回復させられる。世の中を生かさなければならぬので。その証拠がレムナント 7 人、ヘブ 11 章の人々 (ヘブ 11:38)</p> <ol style="list-style-type: none"> 99.9%の間違ったユダヤキリスト教と 0.1%の福音キリスト教を区別する時間 (11-13 節) 患難、苦難、試みにだまされているとき、サタンは 12 の戦略で作品を作る。だまされてはならない。 <p>□本論_三つの機会</p> <ol style="list-style-type: none"> キリストが与えられた祝福を見つける最適な機会 <ol style="list-style-type: none"> マタ 24 章-患難、試み、終わりではない。すべての民族に福音が宣べ伝えられた後に終わりが来る。 マタ 25 章-教会の中には、偽物と本物があるのでだまされてはならない。 <ol style="list-style-type: none"> 十人の娘のたとえ-油がない娘と油を準備した娘 タラントのたとえ-福音のためには一つも使わなくて、世の中のために使って死んだ人 教会の中には羊もいるがヤギもいる。 ルカ 23:28 わたしのために泣かずにあなたがたの子どものために泣きなさい。 パウロが持ったことを味わって見つける最高の機会 <ol style="list-style-type: none"> 使 16 章-福音のために監獄に行ったこと 使 17 章-ならず者を動員して苦しめられたこと 使 23 章-法廷に立ったこと 使 27 章-裁判を受けに行って暴風に会ったこと 未来を準備する最大の機会 <ol style="list-style-type: none"> 最高の患難にあったところで福音を受けて起きた弟子テモテをテサロニケ教会に送った (6 節) イスラエルの滅亡、ローマ時代、流浪の民時代と世界福音化に備える機会 無駄になることにだまされないで契約を正しく握る機会 (5 節) <ol style="list-style-type: none"> イスラエルを無駄になるようにさせたユダヤ教 全世界を無駄になるようにさせた強大国の征服 福音運動、伝道運動しない牧会、教派、教理は無駄になること <p>□結論_一死覚悟-一度しかない人生、三つの機会を見つけ出さない</p>	<p>イエス様が昇天されて再臨する間の時間を終末と言う。その間にすることが世界福音化だ。神様はすでに世界福音化の祝福を与えてくださった。見つければ良い。アブラハムに初めから世界福音化を約束された。237 を悟る瞬間から回復したのだ。</p> <table border="1" data-bbox="1478 319 2128 462"> <tr> <td> <p>□序論_理由-福音を弱体化させる機会を得ようになるので異邦人のようにしてはならない。反対に身の程をわきまえずに、その人を害してはならない。主がご存知で返される (5-6 節)。</p> <ol style="list-style-type: none"> 極端な律法主義 (ユダヤキリスト教) -信仰 で救われることを異端だと言う。 極端な神秘主義-体験 しなければならないと出てくる。 極端な終末主義-終わり だと言って、みな破壊 させる。 <table border="1" data-bbox="1478 670 2128 710"> <tr> <td>暗闇勢力</td> <td>1. 文化掌握</td> <td>2. 経済掌握</td> <td>3. 次世代掌握</td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>□本論_ 237 に向かった宣教信仰-永遠なこと三つ</p> <ol style="list-style-type: none"> 13 節「永遠の冠」 <ol style="list-style-type: none"> エペ 1:1-5 永遠の前に選択 I テサ 2:9 救われたその人が冠 ヨハ 14:1-6 神様とわたしを信じて、心を騒がせてはならない。あなたがたのために居場所を備えに行く。また来る。助け主聖霊でともにいる。 14-15 節「永遠の中の今日」 <ol style="list-style-type: none"> キリスト <ol style="list-style-type: none"> 世々にわたる前 受肉して来られた。 復活-今も働き 再臨の主 さばき主 神様が皆さんを世々にわたる前に選択された。肉体の中にいる間だけ救いの機会になって、伝道することができる。永遠にあることによって答えられる。キリストが復活されたようにすべての人が復活する (I コリ 15:20) 16 節「永遠の背景」 <ol style="list-style-type: none"> 生きる間は、神の国を味わうこと マタ 6:10-使 1:3 神の国のこと 1:3, 11 (再臨主として来られる) 御座-背景 (実際) 黙 21:1-22:16 (創 1-2 章) <p>→神の国というまことの答えで生きた人 1. 生きた殉教 2. 殉教</p> <p>□結論_祈り-宣教に行く前に、これからある必要がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 教会の中に 237 やぐらを立てなさい。 祈りのやぐら 資料 (証拠) やぐら 多民族の家のやぐら 招待のやぐら-彼らを招いて訓練を受けさせることができれば良い。 <p>△祈りの課題とすれば、聖書に約束された答えをそのとおりに与えられる</p>	<p>□序論_理由-福音を弱体化させる機会を得ようになるので異邦人のようにしてはならない。反対に身の程をわきまえずに、その人を害してはならない。主がご存知で返される (5-6 節)。</p> <ol style="list-style-type: none"> 極端な律法主義 (ユダヤキリスト教) -信仰 で救われることを異端だと言う。 極端な神秘主義-体験 しなければならないと出てくる。 極端な終末主義-終わり だと言って、みな破壊 させる。 <table border="1" data-bbox="1478 670 2128 710"> <tr> <td>暗闇勢力</td> <td>1. 文化掌握</td> <td>2. 経済掌握</td> <td>3. 次世代掌握</td> </tr> </table>	暗闇勢力	1. 文化掌握	2. 経済掌握	3. 次世代掌握
<p>□序論_理由-福音を弱体化させる機会を得ようになるので異邦人のようにしてはならない。反対に身の程をわきまえずに、その人を害してはならない。主がご存知で返される (5-6 節)。</p> <ol style="list-style-type: none"> 極端な律法主義 (ユダヤキリスト教) -信仰 で救われることを異端だと言う。 極端な神秘主義-体験 しなければならないと出てくる。 極端な終末主義-終わり だと言って、みな破壊 させる。 <table border="1" data-bbox="1478 670 2128 710"> <tr> <td>暗闇勢力</td> <td>1. 文化掌握</td> <td>2. 経済掌握</td> <td>3. 次世代掌握</td> </tr> </table>	暗闇勢力	1. 文化掌握	2. 経済掌握	3. 次世代掌握			
暗闇勢力	1. 文化掌握	2. 経済掌握	3. 次世代掌握				